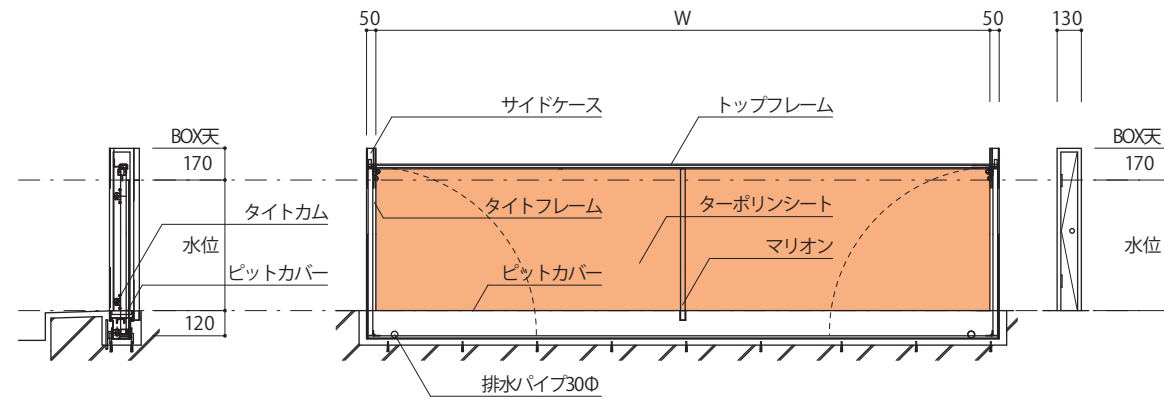
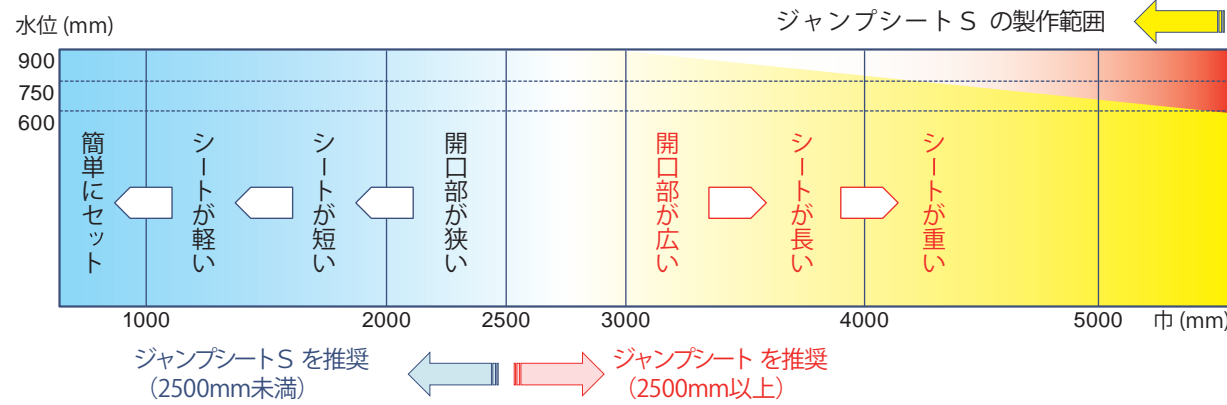


ジャンプシートSの標準図



防潮シート選択の目安



ゲリラ豪雨から
守りたいものがある。

ジャンプシート式踏板分離型防潮シート
ジャンプシートS

コンパクトなジャンプシートS



お問い合わせ



特殊シャッター株式会社

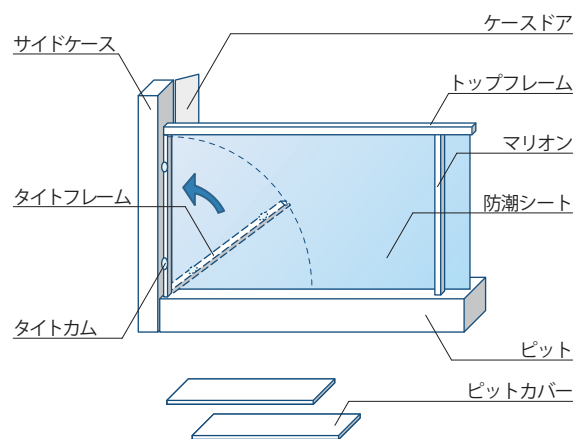
〒543-0071 大阪市天王寺区生玉町1-30生玉ビル304A
TEL 06-6773-9825 FAX 06-6773-9826
http://www.tokss.com/ mail: info@tokss.com

特殊シャッター株式会社

ジャンプシート式踏板分離型防潮シート

ジャンプシートS (コンパクトでリーズナブル)

ジャンプシートS の仕様



■ ピット / ピットカバー

ステンレス製のピット内に、防潮シートとタイトフレーム、マリオンを収納しています。ピットカバーは、石やタイルなど建物の床材とそろえることができます。

■ サイドケース / ケースドア

普通、ステンレス製のサイドケースは左右の壁に埋め込みますが、露出する場合、ヘアラインや鏡面、バイブレーション仕上も可能です。ケースドアは石やタイル、塗装など壁材とそろえることもできます。

■ タイプフレーム / タイトカム

ステンレス製タイプフレームをピットから起し、タイトカムを45度回転させるとフレームがシート側に水平移動して密着します。

(特許申請中)

■ 防潮シート (ターポリンシート)

ステンレス製トップフレームと一緒にピットに収納しています。材質はポリエステル繊維補強・塩化ビニール製。

(太陽工業株式会社 TT200)

ジャンプシートS の特徴



■ 保管場所が不要

脱着式防水板のように倉庫から資材を運搬しなくても、ピットとサイドケースの中に全て収納しています。緊急時に工具を探し回ることもありません。

■ コンパクトなサイドケース

サイドケースがコンパクトなので、開口部が狭くても通行の障害になりません。フロントサッシュに取り付けても違和感がありません。さらに、サイドケースとピットカバーに石やタイルを貼ることで建物に溶け込みます。

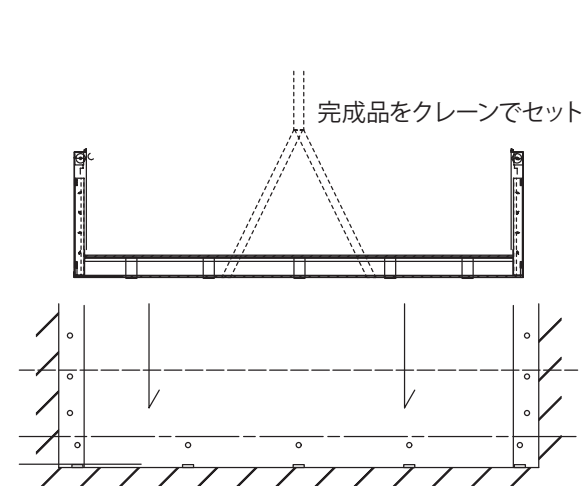
■ セッティングが簡単

防潮シートの中が 2m程度なら女性一人でも簡単にセットできます。巾が 3mを越えると男性でもセットするのが困難です。その時はジャンプシートをお奨めします。

■ リーズナブルな価格

細かい備品まで規格化していますのでリーズナブルな価格でお届けできます。また、構造がシンプルなのでメンテナンスが簡単です。

ジャンプシートS の施工方法



ジャンプシートSは工場で組み立てられた状態で現場に搬入されます。施工は、レベル、位置などを確認の上、固定するだけで、特別な技術を必要としません。

工場組立

↓ 工場で完成させたジャンプシートSを搬入します。

設置場所の準備

↓ 事前に設置場所の床・壁下地を準備しておきます。

固定・アンカー溶接

↓ クレーンでジャンプシートSを吊下げて、躯体に固定(アンカー溶接)。

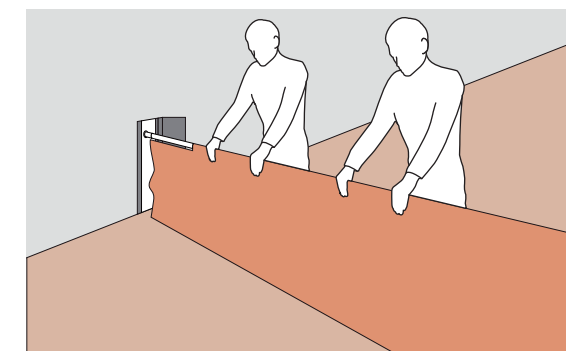
モルタル充填

排水パイプを接続し、隙間にモルタルを充填すれば完成です。

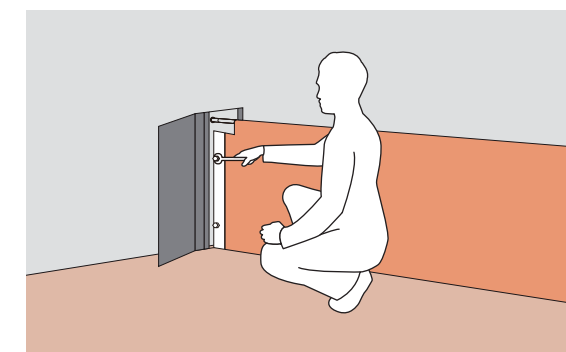
ジャンプシートS のセッティング



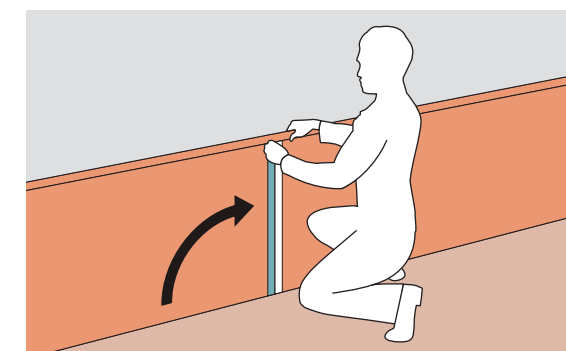
ピットカバーを取り外します



防潮シートを引き上げます



タイトカムを45度回転させます



中間マリオンを起してセット完了